

町政を問う



勝部 俊徳



分庁舎での拡張が目論まれている溝口図書館

八郷小・日光小・二部小を分校化し、また、五学年・六学年を本校とする「小・中一貫教育」は、いまだ一度、考え直すべきではないか！

勝部 溝口小と岸本小を本校とし、その他の小学校を分校とする目的は何か。

”分校化”ではなく、いまの本校方式を
”続けながら再検討を！”
”答申の財政負担は重い。”
”住民投票”の領域も視野に！

教育長 小・中の連携を密にする小・中一貫教育を進めていく。

また、地域の思いを大切にしてそのような答申内容となっている。

伊藤教育委員長 伯耆町における小中一貫教育の姿を求めていきたい。

勝部 「小中一貫教育」は、まだ定まった評価はできていない。

「分校化」は、管理職も事務も保健の先生もいなくなる。

”分校化”でうまくいくのか。

教育長 答申の中でも危惧する部分もあるが、さらに検討したい。

勝部 当分の間、すべて本

校でいき、公的な審議会を設置して、さらに検討すべきではないか。

教育長 学校の耐震化整備を平成二十六年までにすれば文科省助成があるので早期に整備する必要がある。

勝部 次に学校の設置者である町長に次のことについて伺う。

・「学校のあり方検討会の答申についての総合的な受け止め方と財政負担について」

町長 ・答申については、教委が結論を出すべき。

・財政負担は、多大なものとなる。

・住民の合意形成という点で、場合によっては「住民投票」に踏み込まざるを得ない事態も財政負担によつてはあり得る。

・子どもたちにとって大切なものは、他を削

つても守っていく。

溝口図書館の分庁舎一Fを改装・拡張計画は、次善の策を検討すべきでは？

分庁舎一Fは、さらに福祉窓口機能の充実を！

公民館図書（日光・一部・文化センター・岸本公民館）学校図書の整備拡充すべきである！

勝部 「図書館のあり方検討会」は、五月十四日～七月二十四日の間の四回のみで結審。検討委員

は、検討時間がなかったのではないのか。また、溝口図書館拡張の真意について伺う。

教育長 溝口図書館は狭いので拡張して図書システムを導入して各公民館・学校とも連携し、よ

りよい図書館にしたい。
勝部 溝口図書館の拡張を妨げるものではないが、分庁舎は、もっと福祉などの行政機能を高めるべきと考える。

次善の拡張計画も併せて検討すべきではないか。
教育長 分庁舎一Fフロアは、町民の方にも大切な所だと認識して確認しながら話を進めてきた。

勝部 すべての公民館や学校の図書は、大切にしておきたい。

・岸本公民館の改築整備についての考え方について伺う。

町長 岸本公民館は、耐震調査中であり、新改築を含め、いろんな検討をしたい。

来年度予算に審議頂けるよう考えていく。

財源は「合併特例債」。溝口図書館は、本予算で改めて議論を頂く。